

属性No	A-4	地震名	安 政	市町村名	愛南町	整理No.	1/1
西 曆		和 曆		記載文献1	記載文献2	記載文献3	
年	月.日	年	月.日	地震, 第2輯, Vol.41, 1988	平岩陽子修士論文, 1994	自然災害科学 J.JSND S. 15-1, 1996	
1854	12.24	安政元	11.05				
記 載 内 容				現 地 調 査 結 果			
地 名	①深浦東浜257-1 ②深浦東浜260			位置座標	①132° 35' 28.24" ②132° 35' 27.57"		
津波高 記載の有無	(有)・無				①32° 56' 42.86" ②32° 56' 44.87"		
津波高 (尺寸)				地盤高 (m)	①3.00 ②2.20		
m換算	①5 (羽鳥) ②3~4 (平岩, 村上ら)			その他			
文 献 抜 粋				現 地 写 真			
<p>[羽鳥徳太郎：瀬戸内海・豊後水道沿岸における宝永(1707)・安政(1854)・昭和(1946)南海道津波の挙動, 地震, 第2輯, Vol.41, 1988, pp.219-pp.220]より転載 深浦：Fig4.およびFig6記載の深浦の津波高5m. ⇒よりA5m[但し, 津波高に関する記述文はなし]</p>							
<p>[平岩陽子：歴史資料に基づく四国沿岸域における津波浸水高の評価に関する研究, 修士論文, 1994, 付表]より転載 深浦：A3~4m[但し, 津波高に関する記述文はなし]</p>							
<p>[村上仁士・島田富美雄・伊藤禎彦・山本尚明・石塚淳一：四国における歴史津波(1605慶長・1707宝永・1854安政)の津波高の再検討, 自然災害科学 J.JSND S. 15-1, 1996, pp.43]より転載 表1. 四国沿岸での歴史津波の津波高(1946の項はM.S.L., 他はT.P.基準, 単位:m) 深浦(1854): 3~4[但し, 津波高に関する記述文はなし]</p>							
備 考							
位置座標①：浸水あるも到達地点は確認できず”惣川河口部”を位置設定とし, Web-GISで検索。							
// ②：痕跡地点の位置詳細は不明のため”蘇家神社前”を位置設定とし, Web-GISで検索。							

現地状況写真



属性番号 A-4

位 置 愛南町深浦東浜 2 5 7-1

写真番号 1

記 事 :

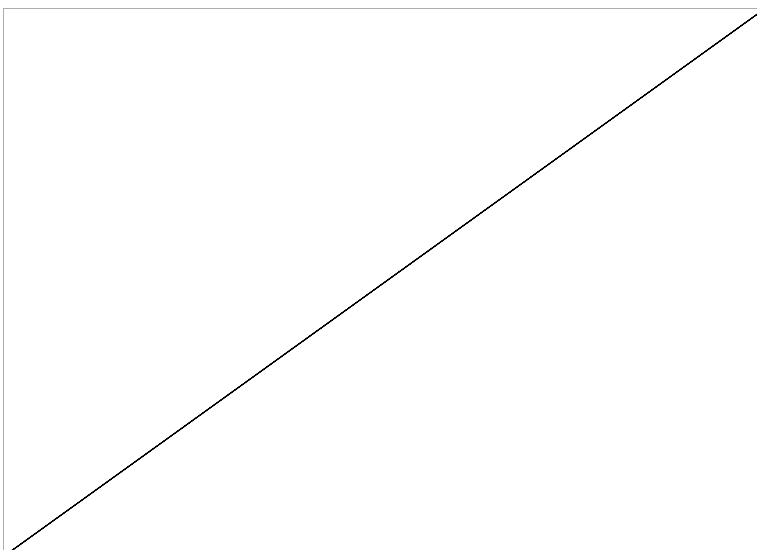


属性番号 A-4

位 置 愛南町深浦東浜 2 6 0

写真番号 2

記 事 :



属性番号 _____

位 置 _____

写真番号 _____

記 事 :
